

1. 日 時 平成23年11月10日 木曜日 第5校時
2. 学 級 大阪府立旭高等学校 普通科1年6組
3. テキスト MAINSTREAM ENGLISH COURSE I second edition (ZOSHINDO)
4. 教 材 Lesson 8 The Japanese People's Sense of Time
5. 指導計画 6時間で完了、本時は第3時間目
 - ① Lesson 8 及び Part(1)の導入
 - ② Part(1)の学習
 - (本時) ③ Part(1)の復習、Part(2)の導入
 - ④ Part(2)の学習
 - ⑤ Part(2)の復習、Part(3)の導入
 - ⑥ Part(3)の学習、まとめ

6. 本時③の指導

①の Part(1)の導入では、授業者の音読（生徒の黙読）で〈タイトル選び〉を行い、Part(1)の概要を捉えさせた。概要がわかった後の家庭学習として、Part(1)の「単語リスト」の意味調べ、Part(1)の「授業プリント」の設問に答えることを宿題にした。

前時②では、①で配付した Part(1)「授業プリント」の〈要点理解〉と〈細部理解〉の問題をチェックし、Part(1)の音読プリントを配付し、チャンク毎に意味を確認した。音読と暗写を宿題にした。

本時③の指導

時分	内 容	活 動	留 意 点
7	A. Part(1)の復習 Part(1)音読プリント（表）で意味確認	Listening	Chunk で
15	B. Part(1)の音読練習 音読プリント(表+裏)	Reading	Sentence で Pair で
10	C. Part(1)文法と文構造の説明 日本語訳プリント	ポイント説明	
	D. 英問英答 Further Questions	授業プリント提出	提出後チェック
15	E. Part(2)の導入 4つの単語の意味を与える 〈タイトル探し〉 4つの単語の意味を与える 〈要点理解問題〉 4つの単語の意味を与える 〈細部理解問題〉	Listening 黙読	類推語
3	F. 宿題の指示 Part(2)単語リスト調べ Part(2)授業プリントの設問に答える Part(1)音読プリントでノートに暗写完成	Writing	

[1] 本校普通科1年生の英語授業内容

2011.11.10.公開授業
旭高校

- 英語 I R (2単位分) MAINSTREAM ENGLISH COURSE I
- 英語 I G (2単位分) Dual Scope
- OC (2単位)

・NET との TT (1 単位分)

教科書 Hello There と自主教材プリント使用

ペアワーク、ミニプレゼン、プレゼン、レシテーション等

・T-NET との TT (0.5 単位分)

英語 I R 既習レッスンに関連する内容を聞き取り、問に答え、自分の意見を書く。

生徒の英文から Typical Mistakes と Good Examples を作成し次の授業で扱う。

・JT (0.5 単位分)

テキスト Listening Pilot と英作文ノート

[2] 英語 I R の授業について

本校の状況に応じて、ラウンド制指導法の使えるところを利用した授業をしています。

MAINSTREAM I にはラウンド制指導のための教材が準備されていますので、便利です。

具体的にやっていることは、ラウンド制指導法の特徴である以下の4つです。

(1) 音声の重視・・・十分聞かせて、発音と文字を結びつけ、多様な方法で声に出して読む

(2) 言語処理能力を伸ばす提示法・・・句や節単位にスラッシュを入れて提示、読みではそこでポーズ

(3) 多様な方法による繰り返し学習・・・タイトル選び、要点や細部を問う問題、Summary ...

(4) 学んだことの内在化・・・意味のわかった英文を多様な方法で音読

生徒が英語に接する時間を多く確保できると思います。家庭学習として音読と暗写を課しています。

●準備するプリント等・・・授業プリント、単語リスト、訳のプリント、音読練習プリントなど

●授業プリント・単語リストの準備

1 枚の授業プリントで扱う未習語を 9～12 個位選ぶ (単語リストに)

英文にパラグラフ番号を入れる

英文には必ずスラッシュを入れて提示 (7±2 音節位毎に意味のまとまりで)

概要理解のためのパラグラフタイトルを選ぶ問題

各パラグラフの要点と細部を問う問題 (問は日本語で、答えは日本語又は英語で)

文法と文構造の問題 サマリーの問題 内容について考える問題

●授業の流れ

①概要理解 (パラグラフ [またはパート] のタイトルを選ぶ問題で行う)

未習語は 4～5 語ずつ意味、語源、派生語など与える

授業の中で類推できる単語は意味を与えないで考えさせる

4 語の意味与える→本文の T 読み S 黙読→S タイトル選び

→次の 4 語→T 読み S 黙読→要点 (細部) 問題の答えを探す

T 読みではスラッシュ間でポーズ、チャンクを読むスピードはおとさない、ポーズを徐々に短く

②要点理解 (要点を問う問題で)

パラグラフ [またはパート] ごとに要点を問う問題を与え、そのパラグラフを T の音読か CD でリスニングかつ黙読させ答えを見つけさせる、ヒントを与える、扱うすべてのパラグラフも同じように行う (また、この時点で類推させた単語の意味確認とタイトルの答え合わせをする)

③以上の要点 (細部) 理解問題を宿題にする、また知らない語彙を調べることも宿題にする

④単語復習 すべての単語を「T 意味・S 発音・T 発音・S 発音」でテキパキ行う

⑤要点 (細部) 問題の答えあわせ CD でパラグラフごとに聞かせる、ヒント与える、答え確認

⑥本文を様々な方法で音読させる 時間があればすべてのパラグラフを

Listen and repeat / 通訳演習読み / パラレルリーディング / (モデルなし) Read and look-up

Shadowing / 穴埋め音読 / ペンシル隠し読み / 感情入れて読み / Delayed repetition

目標時間内読み / 制限で何回読み / CD に遅れず読み / 妨害読み

⑦文法と文構造の説明

T 音読で文法及び文構造のポイントを指摘し、説明、正確に訳させる (全体訳のプリントを配付)

⑧まとめ 英問英答 / 英文再生穴埋め問題 / 内容まとめの表完成など (提出後 T チェック)

⑨音読練習プリントで音読と暗写を宿題にする

⑩次の授業プリント、単語リスト配付し、上記①～③を行う